

P I a n

D o

S e e

学校・家庭・地域の連携

朝日町教育委員会

教育委員長 和 泉 幸 一

この度の東日本大震災で亡くなられた方々に哀悼の意を示すとともに、被災された方々、福島原子力発電所の事故によって避難生活をされている方々に心よりお見舞い申し上げます。未曾有の災害を前にして、防災や安全についてのみならず、人の生き方や社会のあり方そのものが問われているように思います。この大震災を教訓に、命と助け合いの尊さ、頑張る大切さについて、学校・家庭・地域それぞれの立場で語り合っていたいただいているものと思います。

わが国(特に朝日町)は、少子高齢化が大変な勢いで進行しています。このことは、近い将来子どもたちに大変な負担をかけることを意味します。これからを考えたとき、最も重要なことは「人」、すなわち人材です。今こそ教育を通して人材の育成に努めなければなりません。「教育こそ人間社会存在の基盤である」と申します。学業の成績のみ追究するのではなく、そのことを通じて「人」を育てることが大事だと思っています。人としての価値は、一人一人のもっている長所をしっかりと伸ばし、バランスがとれた人格形成がなされた人だと思っています。そのためにも、家庭や地域が学校との連携を密にし、情報交換をしながら望ましい学習環境づくりに努め、児童生徒の生きる力をはぐくむ支援を推進したいものです。当町も来春に向けて、安全で安心な教育環境の整備が推進されつつあります。課題を克服し、新しい仲間との学び合いをみんなで祝福したいものです。

学校においては、基本的な知識・技能の習得や活用する力の育成、年齢に応じた幅広い道徳活動の実践、健康で安全な環境づくりを推進いただいているところですが、今後も、先生方には、児童生徒の信頼関係を基盤に、学び合いを通しての人間関係づくりと、学習意欲の向上、心が通い合う楽しい学校に向けて、教育活動の推進にご尽力をお願いします。

家庭においては、年齢に応じた基本的な生活習慣の確立を願うものです。親の背中をみて子は育つと言われるように、「家庭でのあいさつの励行」をはじめ、「生活の自己管理を身に付けさせる」「家庭での役割分担で、家族の一員としての自覚をもたせる」「我慢に耐えこつこつと頑張る忍耐を付けさせる」「善・悪の自己判断ができ、責任ある行動をとることができる」等、心の育成を望みます。それぞれの子どもには、必ず得意分野があるはずで、親子のコミュニケーションを通し、叱りっぱなしではなく良い点は褒めてやり、長所を見つけ伸ばす努力を惜しんではいけないと思います。

私は、昨年より子ども安全パトロール隊員に任命されました。幸いにも自宅前がスクールバス停であるため、毎日新入生を含む小学生6名、中学生2名を見送るのが日課となっています。児童・生徒の元気な「おはようございます」の挨拶で、健康状態も分かるようになりました。また、学校やスポーツ少年団、部活での出来事も時折話題となり、会話が弾みます。そんな時、私自身うれしくなります。

地域においては、児童生徒のみなさんと保護者の方がともに地域の自然や文化を理解し、地区の運動会、ボランティア活動、公民館活動、等に積極的に参加してほしいと願っています。地域の人々とのふれ合いや交流行事に参加する楽しみや喜びを体験することによって、地域と保護者の連帯感が生まれます。地域ぐるみでふるさと朝日町に誇りをもつ児童・生徒の健全育成を目指したいものです。

学校・家庭・地域で共に役割を分担、連携しながら、大事な大事な子どもたちを見守り、社会に送り出す。「さすが『朝日町の子』だ!」こう言ってもらえることが私の願いです。